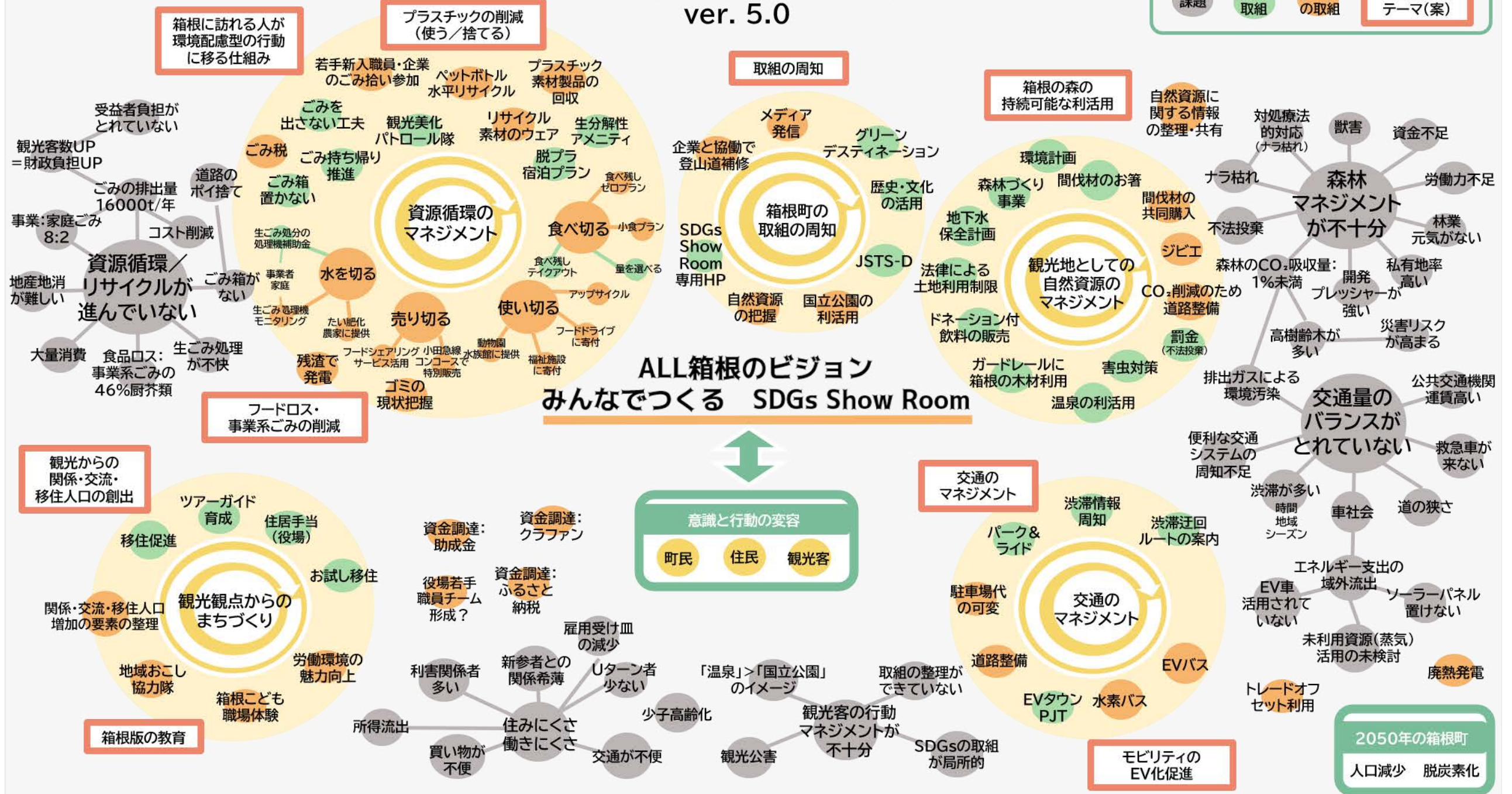


持続可能な箱根町の曼荼羅図 ver. 5.0

課題 既存の取組 これからの取組 プロジェクトテーマ(案)



箱根を訪れる人が環境配慮型の行動に移る仕組み

プラスチックの削減(使う/捨てる)

取組の周知

箱根の森の持続可能な利活用

資源循環/リサイクルが進んでいない

- 観光客数UP = 財政負担UP
- ごみの排出量 16000t/年
- 事業:家庭ごみ 8:2
- 地産地消が難しい
- 大量消費
- 食品ロス: 事業系ごみの46%厨芥類
- 生ごみ処理が不快
- コスト削減
- 道路のポイ捨て
- ごみ税
- ごみ持ち帰り推進
- ごみ箱置かない
- 生ごみ処分の処理機補助金
- 事業系家庭
- 生ごみ処理機モニタリング
- たい肥化農家に提供
- 残渣で発電
- フードロス・事業系ごみの削減

資源循環のマネジメント

箱根町の取組の周知

観光地としての自然資源のマネジメント

森林マネジメントが不十分

交通量のバランスがとれていない

観光からの関係・交流・移住人口の創出

観光観点からのまちづくり

- ツアーガイド育成
- 住居手当(役場)
- 移住促進
- お試し移住
- 関係・交流・移住人口増加の要素の整理
- 地域おこし協力隊
- 箱根こども職場体験
- 労働環境の魅力向上

資金調達: 助成金

資金調達: クラファン

意識と行動の変容

町民 住民 観光客

交通のマネジメント

交通のマネジメント

- 渋滞情報周知
- 渋滞迂回ルートの案内
- パーク&ライド
- 駐車場の可変
- 道路整備
- EVバス
- EVタウン PJT
- 水素バス

エネルギー支出の域外流出

- EV車活用されていない
- ソーラーパネル置けない
- 未利用資源(蒸気)活用の未検討
- 廃熱発電
- トレードオフセット利用

箱根版の教育

所得流出

- 利害関係者多い
- 新参者との関係希薄
- 雇用受け皿の減少
- Uターン者少ない
- 少子高齢化
- 交通が不便
- 観光公害
- 観光客の行動マネジメントが不十分
- SDGsの取組が局所的
- 「温泉」>「国立公園」のイメージ
- 取組の整理ができていない
- 買い物が不便
- 住みにくさ 働みにくさ

モビリティのEV化促進

2050年の箱根町

人口減少 脱炭素化